

MACHI café+

Ardent Coffee Export エチオピアシダマ Natural

高品質なコーヒーの中でも注目を集めているエチオピア産コーヒー。

エチオピアでの生活はその盛況とは程遠く、まだまだ貧しい現状があります。

コーヒーを通じて、エチオピアをもっと豊かに、人々にもっと安全で衛生的な生活を。
そんな想いから生まれた、この一杯のストーリーをお届けします。

今回のコーヒーは・・・

Strictly Private and Confidential

株式会社MCアグリアライアンス

Ardent Coffee Export

エチオピア シダマ

Ardent Coffee Export CEO

Ashenafi Argaw (アシナフィ アーゴウ)

バリスタ各種世界大会で使用されるレベルの**高品質なコーヒー**を手掛ける、**生産と精製のプロフェッショナル**。エチオピアの各地でコーヒーチェリーの集積所を設立し、**小規模生産者の育成とサポート**をおこなう。

また、**孤児院を設立する等**、コーヒーを生産を通じ、**エチオピアの経済発展や教育にも**尽力している。



集積場所 : Dembi #2

2,000m超で栽培された良質なチェリーと

丁寧な精選プロセスが織りなす、多彩な味わい

- ・ 標高が2,000mを超える為、同エリアでは良質なチェリーが収穫されます。
- ・ その良質なチェリーがAshenafiのところに集まり、丁寧に精選され、美味しい一杯へ

ブラック :

熱いうちはフレッシュな柑橘感、
冷めるとチェリーの様なフルーティさ
心地よい甘みと酸味をお楽しみください



ラテ :

コーヒーとミルクの甘みを
いっぱいを感じる幸せな味わい
キャラメル、ロイヤルミルクティーを連想させる甘み



規格 : G1 (最高等級) 精選方法 : Natural (アフリカンベッドでの乾燥)

Ardent Children Center

Strictly Private and Confidential

株式会社MCアグリアライアンス

そんな素晴らしいコーヒーを生み出すエチオピアの現状は、貧困率31%、紛争の絶えない貧しい国です。Ashenafiは、コーヒーを通じてエチオピアを豊かに、より安全な国へと発展することを目指しています。コーヒーを正規価格で買うだけでなく、社会面のサポートを行うべく、親や身寄りのない子供たちが共同生活できるChildren Centerを設立・運営しています。

<Children Center基礎情報>

場所：イルガチーフ・シダマエリアに各1施設の計2施設

人数：各40人の子供たちが暮らしている（5歳から15歳）

<建設プロジェクト>

- Ashenafiは、Children Centerを設立したものの、**資金不足から十分な環境を提供できていなかった**
→Ashenafiの取組に感銘を受けた現地駐在員が、何か力になるべく、資金提供を行い、新施設建設を援助
- ステンレス製の薄い壁、男女一緒の部屋等の環境に目を付け、より良い環境を提供する為に新施設の建設を行った
→**コンクリート製の壁、男女別々の部屋に加えて、図書室・Playgroundも新設された**



Point 1 : Ashenafiのポリシー



「コーヒーを正規価格で買うことは勿論、社会面のサポートも併せて行うことで、コーヒー産業が持続していく」

と考え、自費でChildren Centerを設立し、孤児を受け入れるように。
※同国は民族紛争により孤児が多い。

Point 2 : 自立を見据えた取り組み

エチオピアでは、義務教育は受けられるが、就職活動やその後どう生計を立てるかのサポートはなく、失業率が高くなっている

同施設ではバックヤードに菜園が整備されており、食料は自給自足。更に、余った分は販売可能。

= 自立した生活を営む能力を養う



Ashenafiは自身の経歴を振り返った時に「学校に通えたこと」「勉強する機会があったこと」が大きな意味を成していると考えています。その経験から子どもたちにも思い切り勉強してもらう為に、Children Centerには図書室が整備されました。しかし、実際にあるのは本棚一つに数少ない本のみ。MACHI café+としてこの活動を支援する為に、エチオピアコーヒー産業の将来に繋がるように、本の寄贈を行います。

<寄贈プロジェクト>

ローソン様50周年記念

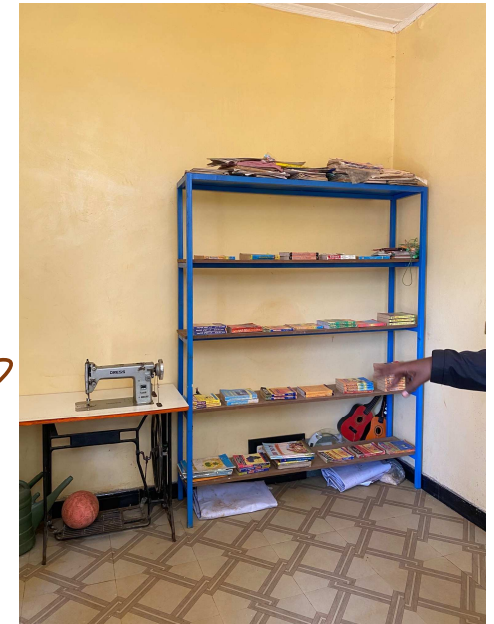
50冊の本を子どもたちへ

Ardent Children Centerには、図書室が設置されています。

しかし、まだまだ本は集まっていない状況。

黒板を使って話を始めると、我先にと集まってくる好奇心旺盛な子供たち。

エチオピアの未来を担う子供たちの糧になるように、この一杯から子どもたちに本を届けます。



日本側では一杯を提供する際にアイテムカードと一緒にプレゼント。表には寄贈する本の一節が。裏には商品のこだわりを。

<予算>

寄付金額：1杯当たり10円の寄付を実施

ホットコーヒーのみ：約42,000円（4,200杯想定）

水出し含む：約171,200円（ホット4,200杯＋水出し12,960杯）

※送金手数料やその他費用については確認しております



エチオピア概況

Strictly Private and Confidential

株式会社MCアグリアライアンス

- エチオピアはコーヒーの起源だけでなく、人類の起源とも言われている誇り高き国。
- 民族意識が強く、紛争が絶えない国であり、経済面を含めて発展途上な部分が多く残っている。

○非常に多様な民族からなる国家

• 83部族で構成

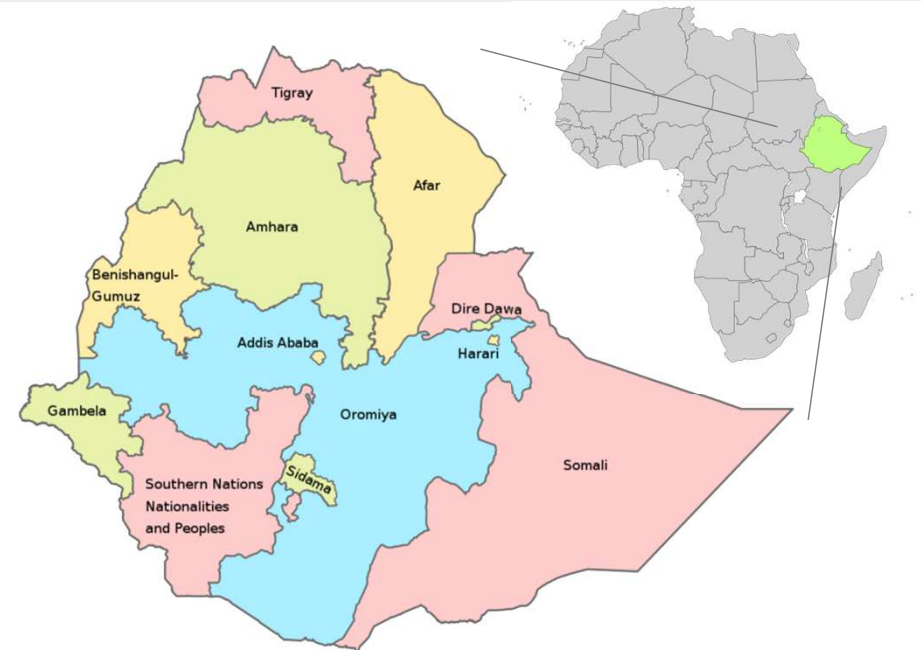
- 公用語はアムハラ語を初めとする主要民族の5言語ではあるものの、各地域では部族固有の言語が根強く残る
→民族意識が非常に強い

○将来の成長可能性を秘める国

- エチオピアの**年齢中央値は約19歳**と、今後の人口拡大の素地を持つ（日本は約49歳）

○経済面ではまだまだ発展途中

- 一人当たり名目GDP：世界168位（\$1,156）
※日本：\$33,853
- 貧困率：31%
※ブラジル＝10.8%, エルサルバドル＝26.6%



Washing station近くの民家

- 15人が住んでいる
- 自分たちで建設